

操作マニュアル

(指導者用)

Micro:bit

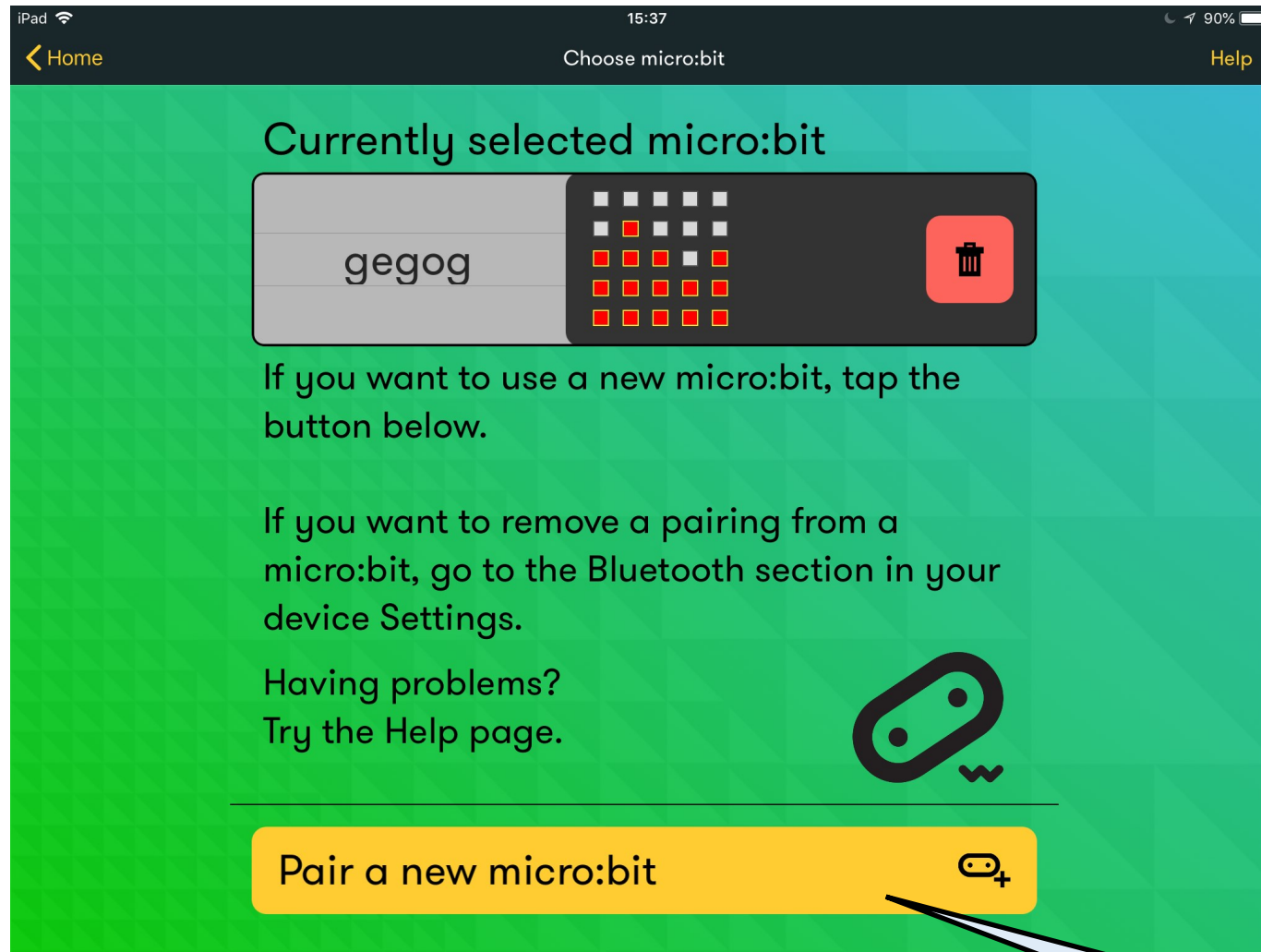
(参照) <https://microbit.org/ja/guide/quick/>

みんなのコード スターターガイド

指導の流れ

の例

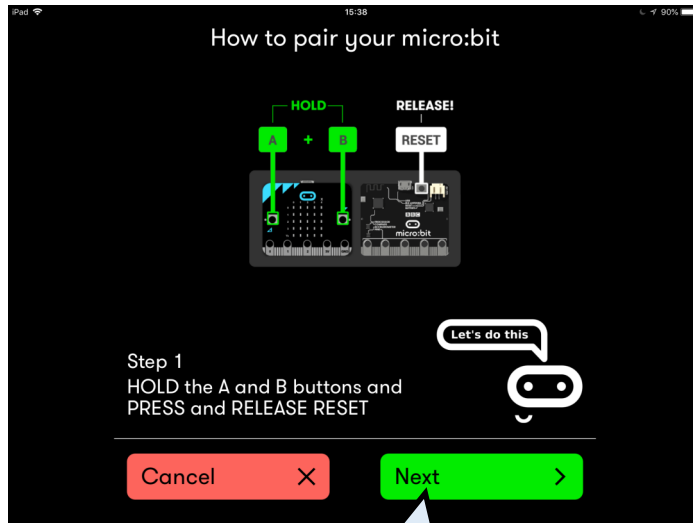
ペアリングをしよう



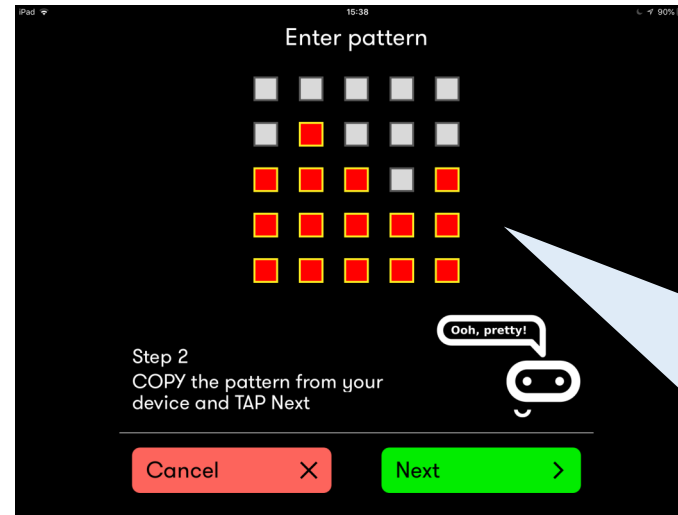
Oipadとmicro:bitをペアリングします。

クリックします。

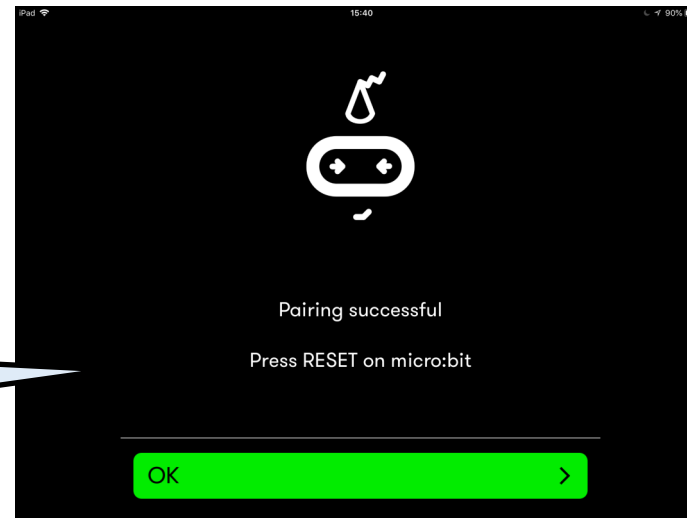
ペアリングの手順



クリックします。



マイクロビット
が光っている通
りに白いマス
をクリックして、
赤の模様をつ
くれます。



OKをクリックしたらOK!!

プログラミングをしよう

○プログラムのHPから
理科を選択する。

理科

micro:bitとプログラムの6年理科電気キットを使って、新学習指導要領に例示されている「電気の利用」を学べます。

パソコンを使ったプログラミング × micro:bit + プログラムボード

※ プログラム理科を始めるには「プログラム6年理科電気キット」が必要です。
※ プログラミングはMakeCode Editor（メイクコード エディター）を使います。

キットを使うときの注意

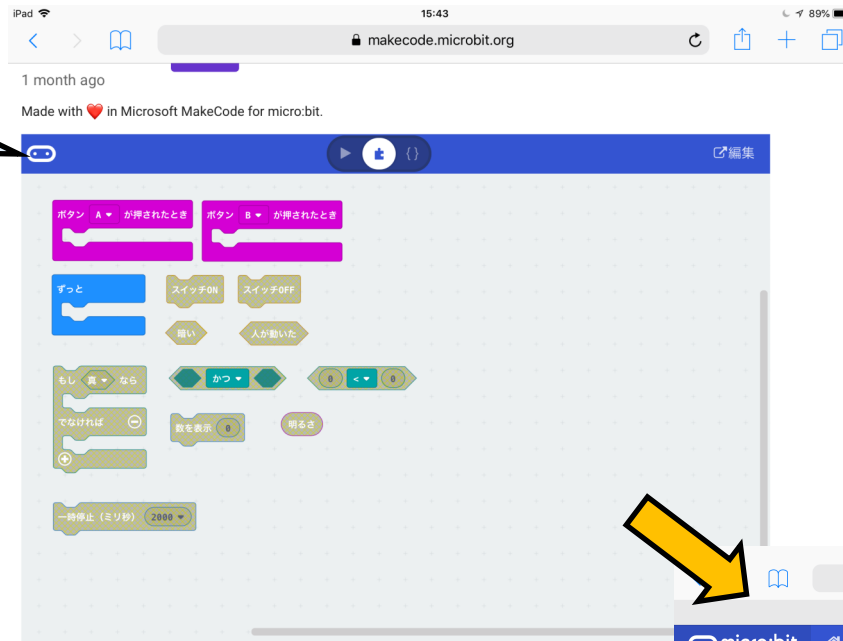
1. 机上で3V以上の回路を一緒に扱わないでください。一瞬触れただけでmicro:bitが破損する可能性があります。
2. プログラムボードからmicro:bitを取るときはボードからmicro:bitをまっすぐ上に引き上げてください。バネがのびやすくなってしまいます。

今すぐプログラミングする

クリック
します。

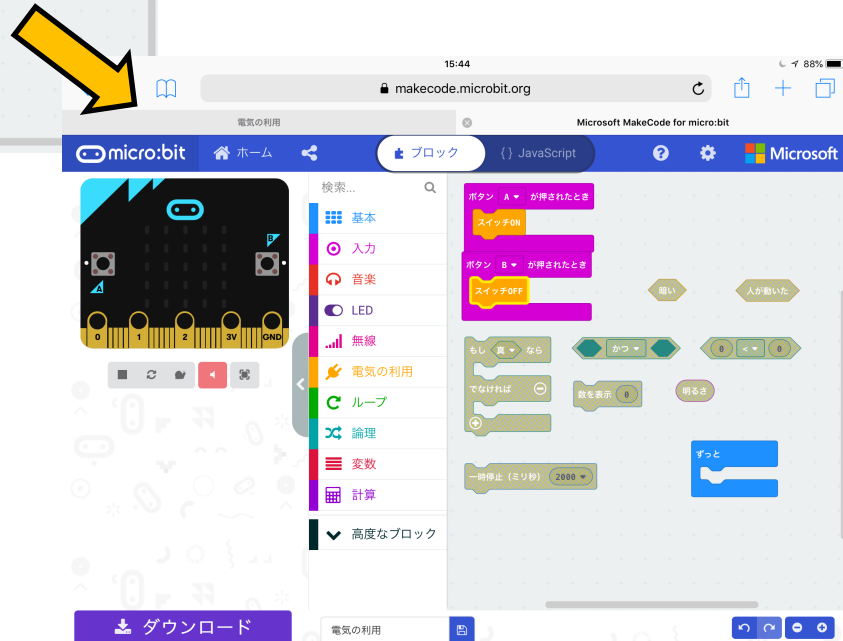
プログラミングをしよう2

このマーク
をクリック
します。



ブロックを組み合わせて
プログラミングをする。

★(例)「ボタンAが押されたとき」のブロック
の中 に「スイッチON」ブロックを入れる。
「ボタンBが押されたとき」のブロックの中
に「スイッチOFF」ブロックを入れて、つな
げる。



ダウンロードをしよう



このマークをクリックします。



このマークをクリックします。

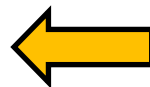
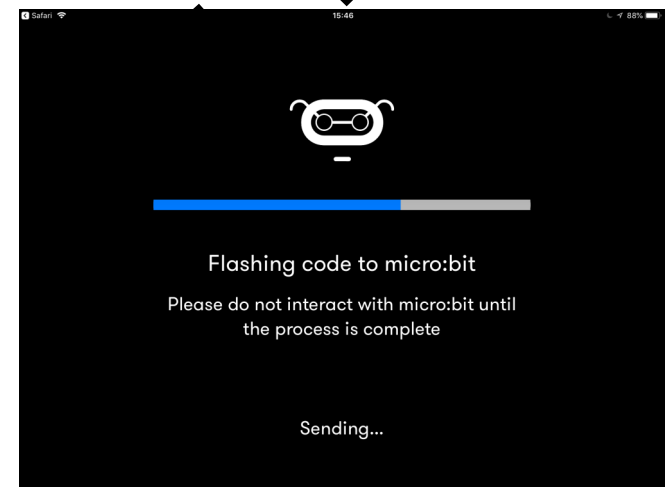
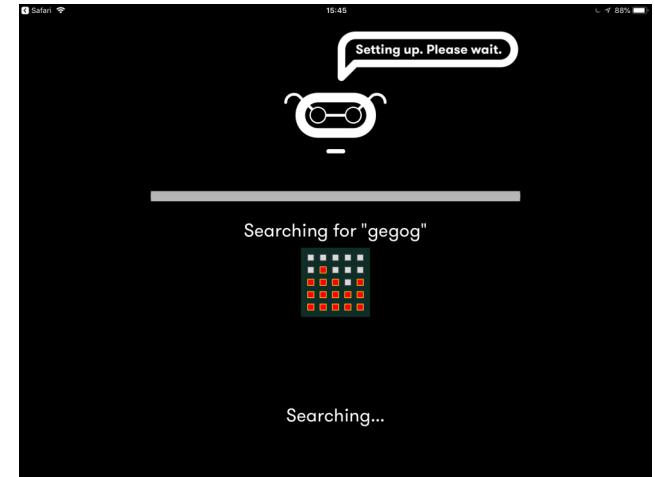


このマークをクリックします。

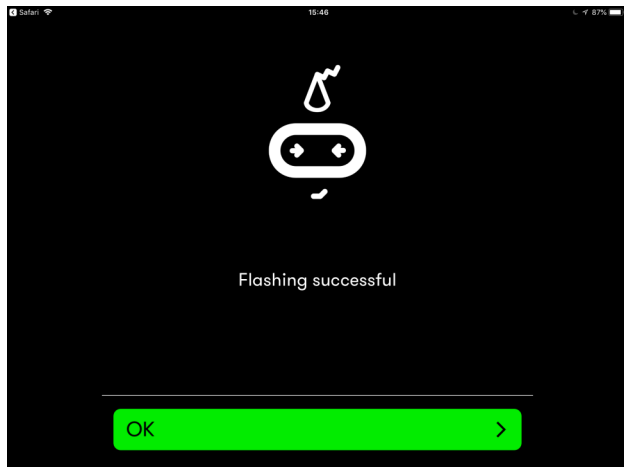
ダウンロードをしよう2



水色の部分を
クリックします。

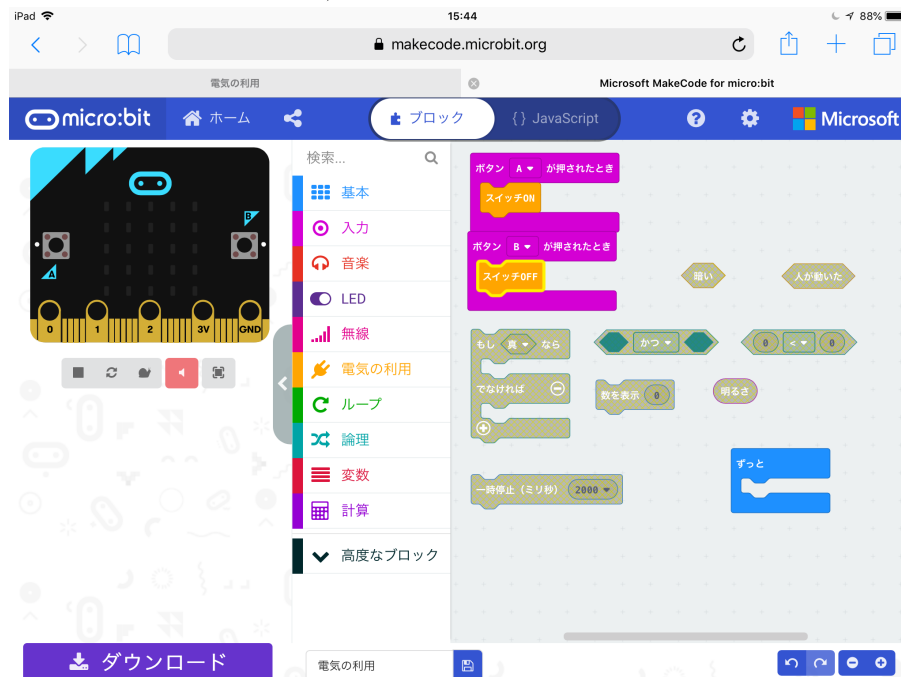
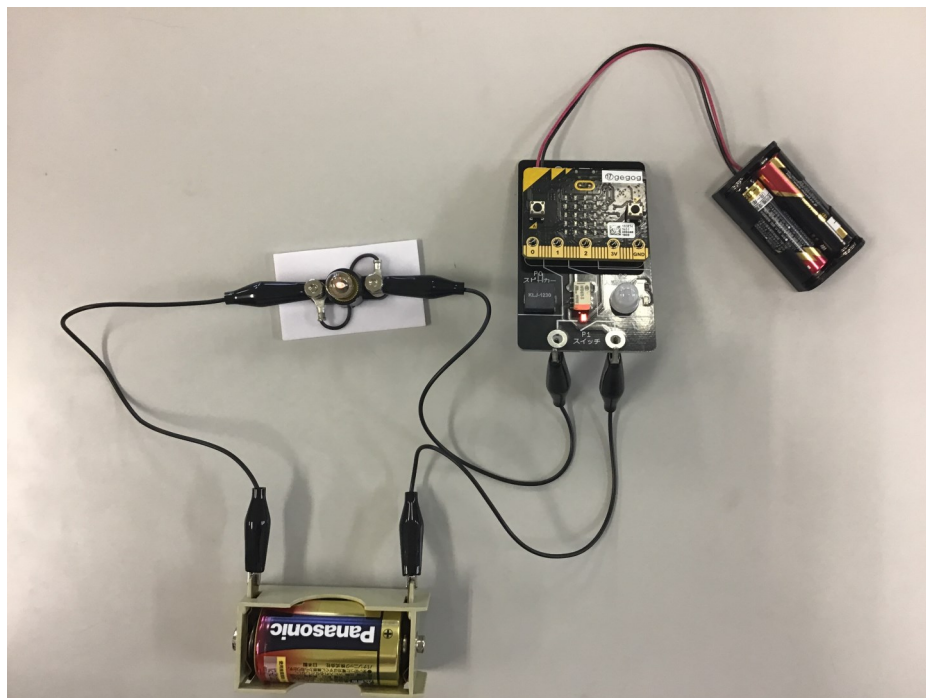


このマークをク
リックすれば
OK!



試してみよう

プログラムの開いて、
この画面に戻します。



★準備物

- ・micro:bit
- ・プログラクボード
- ・電池ボックス×2
- ・電池
- ・豆電球
- ・ワニクリップ×3

※何度かダウンロードを繰り返してプログラミングしたものを試すときには、必ずmicro:bitにダウンロードされたデータを一回一回消す。